

イラク自由会議（ I F C ）衛星テレビ局開設をめざす特別決議

I F C を何百万人もを擁する巨大な大衆的な団体にして、占領とテロリズムを終結させ、イラクに市民社会を再建し、イラク人の人道的なアイデンティティに基づく民主的で非宗教的かつ非民族的な政府を構成するために、私たちは占領と民族的・宗教的差別を正当化するすべての考え・概念及び広範に浸透している迷信と絶望と対決しなければならない。

何十もの衛星テレビが日常的にイラク社会を毒している。子どもたちには、自らの祖先の信仰を抱かない者は誰であれ、どのように憎むべきかを教育している。人々には、女性を二級市民としてどのように扱うべきかを、憎悪を扇動してどのようにテロ戦争の燃料になるべきかを指導している。

I F C の闘いを前進させるために、私たちは衛星テレビ局を開設してイラク人に希望を与え、人々に人道的なアイデンティティといたかにして平和的に共生し、テロリズムを助長する全ての考えと戦うべきかを教育する必要がある。

1・28 国際会議参加者は、I F C 衛星テレビ局開設を積極的に支持し、開設・運営に必要な資金 40 万ドル募金運動に世界各地で取り組む。

2006年1月28日

イラク自由会議とともに

占領軍即時撤退、イラクの民主的再建をめざす国際会議・参加者一同

イラク自由会議会議

サミール・アディル（イラク自由会議議長）

アザド・アハメド（イラク子ども保護センター代表）

ナダ・ムアヤド（イラク女性自由協会バクダット女性シェルター前所長）

アリ・アバス（イラク労働者評議会労働組合連合バスラ支部長）

ジョセフ・ガインザ（平和と正義のための連合(UFPJ)全国運営委員、アメリカンフレンズ派奉仕委員会）

ビル・ペルツ（エルジン大学労働史研究所所長、アメリカ社会党）

ビル・ワインバーグ（戦争抵抗者同盟 WRL-アメリカ）

ニコラ・ドッソ（イラク連帯・フランス代表）

オ・セチョル（社会主義政治連合・韓国，元・延世大学教授）

ウー・チャンス（東アジア反戦会議・韓国委員会）

イ・イルゼ（社会主義政治連合・韓国）

ポール・ガラン（戦争と暴力に反対する親と子の連合、フィリピン）

イエニ・ロサ・ダマヤンティ（国境なき連帯、インドネシア）

伊藤成彦（中央大学名誉教授）

岡本三夫（元広島修道大学教授）

イラク市民レジスタンス連帯委員会（日本）

民主主義的社会主義運動 M D S（日本）

平和と民主主義をめざす全国交歓会（Z E N K O）